

(別添)

若者自立塾の利用者・保護者・スタッフの声

- 若者自立塾は、ニート等で基本的な生活習得、働く自信レベルの根源的課題を抱えた若者を対象として、合宿・集団生活型で基礎的な能力を徹底的に身につけさせ就職、職業的自立支援に結びつける唯一の施策。
- 自立塾卒塾者の6ヶ月後の就労率は62%（累計）。支援を受け就職を果たしたニート本人や保護者、スタッフから以下のような声が寄せられている。

(事例1)

昼夜逆転生活から、接客にチャレンジに

(男性)

【利用者本人の声】

ここに来る前の自分は、ただ時間を無為に過ごし、テレビやゲームといった手軽な娯楽で不安を解消し、現実離れをした本を読んで、観念の世界に惑溺し、焦りや不安を紛らわせていた。生活も昼夜逆転だった。

しかし、自分の将来を真剣に考えようとするほど他人や社会の目が気になり、決断を先送り一歩が踏み出せなかった。他人の目が病的なくらい怖くなっていき、失敗が最大の恐怖となった。

自立塾に入って、最初の頃は自分と違う価値観の人たちと一緒にいるのがつらかった。しかし、だんだんとしやべっているうちに、みんなが優しく、自分は幼く人間関係に卑屈だと思い始め、なるべくみんなに溶け込もうと努力した。

就労体験でも、最初は地味な単純作業で屈辱的に感じた。しかし与えられた仕事を一生懸命こなしていると、周りの職員の皆さんから心から感謝されるのがわかり、自信と意欲がわいた。

生活リズムも元に戻り始めて、心身共に元気が出て何か新しいことにチャレンジしようと思い、接客の仕事を始めた。接客はマニュアル通りには運ばず、常に自分の感性が試されていて、良い緊張感と労働に対する張り合いを感じるようになった。

照会先： 特定非営利活動法人教育研究所（宇奈月若者自立塾）

(事例 2)

5 年の引きこもり生活から職業訓練校へ

【利用者本人の声】

一度会社勤めをしたもののうまくいかず退職、その後約 5 年間引きこもりがちになり、社会から孤立した感じでした。どうしたらこの状態から抜け出せるかいろいろ考え、途方に暮れる日々でした。

親が「こうべ若者自立塾」を薦めてくれました。

入塾してしばらくの間は、卒塾までの間やっていけるか心配でしたが、同期の塾生と話ができるようになり、次第に不安感がなくなっていました。

規則正しい生活を送り、様々な講義を受けているうちに次第に自分に自信がもてるようになってきました。

訓練期間中に応募した職業訓練校（ポリテクセンター）に訓練生として 6 ヶ月通うことになり、今は充実した日々を過ごしています。塾長、スタッフの皆さん、同期の塾生の支えがあったからこそと感謝しています。

照会先： 特定非営利活動法人こうべユースネット（こうべ若者自立塾）

(事例 3)

昼の仕事をするため飲食店を退社後、約 1 年間ニート状態に。塾でパソコン資格を取得し、自信ができて就職活動開始。

(男性)

【利用者本人の声】

入塾当初は、なぜ僕がここにいるの？と思い、早く帰りたかったです。でも、合宿は好きだったから、いろいろな人と出会えることは楽しみでした。上手に他の塾生とコミュニケーションが取れるかどうか不安でしたけど。

3 か月の塾生活では、いろいろな性格、考えの人がいるということがわかり、他人に対して優しくなれたように感じます。何か一つの事が心に残った、というよりも、共同生活全般が楽しかったです。共同部屋や共同作業など、もともと合宿が好きだから、全て楽しく感じていましたね。ただもっと体を動かしたかったです。地域のスポーツ大会に参加したりして、地域住民と交流する機会を増やした方がいいと思います。

自立塾でパソコンの資格を取得したことは、就職活動にも役立ちました。履歴書の資格の欄に記入できることが、自分にとって自信になっています。

【スタッフコメント】

S さんは入塾以前、名古屋の有名飲食店の店長を務め、売り場面積あたりの売上を全チェーン 85 店舗中 1 位の繁盛店にまでした男性です。その仕事では、土日は忙しく休みが取れず、夜も遅くまで働くことが多かったそうです。「昼の仕事がしたい」という思いから飲食店を自ら退社しました。その後、約 1 年間就職をせずに過ごしていました。それにお父さんが業を煮やし、無理矢理に近い状態で入塾することになりました。

塾では他の塾生からも慕われる陽気なお兄さんという感じで、活気を振りまいていました。

現在も同期の塾生とは連絡を取っていますよ。OB 会でも会っていますし、電話もしたりしています。今度、飲みに行こうかなんて話しています。OB 会への出席人数が多いのもっと楽しいのに、と思います。

照会先： 特定非営利活動法人 ICDS (キャリア・ビレッジ)

(事例 4)

4 年勤めたスーパーを辞め 2 年間ニートに。塾の生活に慣れてからは塾生の模範に。卒塾前に就職フェアに塾生全員で参加し、現在の就職先に出会う。

(男性)

【利用者本人の声】

塾は、入塾前に想像していた場所と違いました。ハローワークのようにたくさんの方を紹介してくれるところだと思っていましたが、3 か月間のうちに自分で考えて仕事を見つけなければならないので戸惑いました。でも、今考えると甘やかされなかった分、自分のためになりました。

心に筋肉があるとしたら、入塾前は全く筋肉のない状態で、筋肉をつけられる環境でもありませんでした。塾で3 か月間過ごしてからは心の筋肉がつき、始めの一步を踏み出すことができるようになりました。気持ちの面でかなり強くなりました。塾で学んだこととは違うかもしれませんが、塾で就職フェアにいかなかったら一人では行くことはなかったと思います。

塾の生活で一番楽しかったことは、他の塾生のみんなに会えたことです。単純に楽しかったです。塾での3 か月の思い出が、仕事へ行くときに支えてくれます。たまに思い出し笑いもします。同期生の一人とは、今でもたまに電話します。お互い仕事のことについて話をして励ましあっています。毎朝仕事に行くために起きるのは正直言ってしんどいです。でも、塾にいる時は朝起きられたので、その時の自分に負けたくないという気持ちで目を覚ましています。塾での生活は、今現在の私のためにあったのだと感じました。今後の目標は、その日一日働ききることと、早く CAD インストラクターになることですね。

【スタッフコメント】

彼女にとってパソコンとの出会いが彼女自身を大きく変化させ、自信となり、他の塾生やプレワーク先の方との出会いが彼女の気持ちを晴れやかにしていったようです。そして、卒塾後も仕事で必要な CAD の学習だけでなく、ACCESS の学習も継続して行い見事 MOS 検定に合格しました。K さんはこれからももっともっと成長していける人です。キャリア・ビレッジでの出会いを忘れず、身につけた自信と勇気で素晴らしいパソコンのインストラクターになることを願っています。

照会先： 特定非営利活動法人 ICDS (キャリア・ビレッジ)

(事例5)

社会不安障害による対人恐怖から社会生活が円滑に行えず。医療機関と連携した若者自立塾での合宿生活により、スタッフや塾生とのコミュニケーションがとれるようになった。

(男性)

【利用者本人の声】

私は、今みんなと一緒に作業をしています。

若者自立塾なのだから当然です。ところが「みんなと一緒に作業」というのが私には奇跡なのです。皆さんは「社会不安障害」という病気をご存知でしょうか？簡単に説明すると、対人恐怖がメインの病気です。身体は元気ですが病気のため社会生活が円滑に行えません。いや、行えませんでした。

若者自立塾に来てからも他人が恐く、部屋で寝ていました。トイレに行くのさえも誰かに会わないかと不安でした。そんな生活が2週間ほど続き途方にくれていた時、ある仕事を与えて頂きました。それは一人で出来る仕事、ハーブの収穫の仕事です。仕事の内容は地味です。ひたすらミントの若葉を摘み取るだけなのです。朝から夕方までです。当初はこんな事で「自分になんの変化をもたらすのか」と、実は思っていたのです。

ところが続けていくうちに元気が出てきたのです。とても仕事が楽しいのです。勿論、病気である以上医学的な治療も大切ですが、さすが喝破道場、山の麓の病院と提携していて、神経内科できちんとした治療も受けられます。正直、ここまで自分が回復するとは思いませんでした。

スタッフ、そして受け入れてくれた塾生のみんな、ありがとう！

引きこもりは甘えではないと、経験者である私は思います。

引きこもりの人、また引きこもりを抱えているご家族の方、私に一度会いに来ませんか？

私を救ってくれた喝破道場のみんなに会いにきませんか。今、私は幸せです。

照会先： 財団法人喝破道場（喝破道場若者自立塾）

(事例6)

大学卒業後6か月就職、その後2年ニートに。自立塾での就労体験プログラムにより自信と希望を獲得し就職へ。

(31歳男性)

【保護者の声】

自立塾に入る前の息子の体つきは、それまでの生活を表しているかのように、締まりのないものでした。でも、入塾して1か月もすると、すっかり引き締まりました。朝きちんと起きて体を動かす生活とみんなで作るバランスのとれた食事によるものと思います。体の変化と共に周りの状況を読んで身軽に働けるようになりました。

塾生一人一人の個性に合わせて用意される就労体験プログラムに参加し、多くの人に出会い、失敗を許される中で彼は自信と希望を得ていったと思います。卒塾に当たり息子は「これからいろいろなことがあると思うけれど、今は不安より期待の方が大きい」と言いました。

自立塾生としての3か月の生活が彼の就職につながったと思います。

照会先： 特定非営利活動法人子どもと生活文化協会（CLCA若者自立塾）

(事例 7)

昼夜逆転生活から正社員へ

(20代 男性)

【スタッフの声】

中学卒業後、調理師専門学校へ入学し卒業する。その後居酒屋やレストランの厨房でのアルバイトや、自動車工場での仕事をしたが、長くは続かず、自宅に帰ってきてからは職につかなくなった。自宅に帰って来てからは生活が乱れ、昼夜が逆転して働く意欲をなかなか出せない状態が続いていた。

本人は中学時代より高校の教師をしている父親と仲が悪く、あまり会話がなかった。父親は高校進学を望んだが、本人は拒否して専門学校へ進学。その時から 1 人暮らしを始める。友人はあまり居ない。おとなしく、あまり思ったことを言わない性格である。

父親が新聞の記事で若者自立塾のことを知り、問い合わせをした。その後、両親が自立塾に来て、続いて本人を連れてきて、面談を経て入塾に至った。

入塾して規則正しい生活を送ることで、昼夜逆転がなおり生活状態が改善した。また、プログラムをきちんと全過程修了し、ヤル気が出てきて前向きになった。プログラムの中でも特にパソコン講座に興味を示し、普段でも宿舎で練習をするようになった。

調理師免許を持っており料理が得意なため、自ら進んで塾生の料理の準備をするようになり、皆から尊敬されるようになることで自信が持てるようになった。そしてそれをきっかけにいろいろな事に興味を持つようになった。

修了時には、自立塾と関係のある事業所でお手伝いをすることになった。仕事の内容は主にパソコンによる事務作業。仕事をこなすうちにパソコン操作の技術もあがり、その事業所のパソコンでの業務全般を任せられるようになった。

その後本人の目標が決まり、就職活動を経て、工場に契約社員として就職した。半年後には正社員になる予定である。

照会先： 社団法人日本青少年育成協会（若者自立塾沖縄北中城）

(事例 8)

大学 4 年生のときに就職活動に躓き、自信を喪失。就労体験やボランティア作業を通じて、自信を取り戻し、植栽、盆栽の会社に就職。

(20 代 女性)

【スタッフの声】

就職活動に躓き自信喪失

大学 4 年生での就職活動でうまくいかず就労への自信を喪失し、ボランティア活動や農林業等の体験・研修にすすむことを考えていた。卒業後、アルバイトやパートにもトライするが、勤務したその日の内に退職を勧められ、ますます自信を失っていく。母親の「公務員になるのが良い」といった願望に押しつぶされ、図書館や街に避難する生活が続く。

卒業して 1 年後、1 年間のボランティア活動への参加希望のため、ボランティア実施団体による書類審査・面接とすすめていくが採用されなかった。その時の面接官より自立塾のことを教えてもらい、関心を持つようになった。

入塾面談は母親に付き添われ当事業所に来る。母を意識しているのが強く伝わってくる中、ようやく言葉にしたのが、「教員や公務員の仕事に就く前に、相談できる仲間など人間関係が上手くできるようになりたい」であった。

環境を変えて新たな一歩を踏み出す

親と離れて仲間との共同生活をはじめると、いろいろな面での環境変化により、本人はイキイキと活動するようになる。就労体験先での業務やボランティア作業などは、自身が「役に立った」という実感をもつことができたようで、みるみる爽やかで元気になっていく姿が見受けられた。

適した仕事を共に探し求める

一通り自立塾のプログラムを経験する中で、対人援助の業務は自分にはハードルが高すぎると考え、一つの作業を淡々とやり続ける業務を共に探し求めていった。自立塾が日常的に連携をしている建築会社の社長の紹介で、植栽および盆栽の生産、加工、卸し、販売と一連の作業がある会社に相談したところ、研修生扱いで入職を認められることとなった。その会社では、本人の現状能力にあわせた緩やかな指導とプロセスが工夫されており、自立塾にとっても学ぶべきことが多くあった。

照会先： 特定非営利活動法人フェルマータ

(事例 9)

7年間ひきこもり状態だったが、塾のコミュニケーション訓練に挑戦し自信を得る。現場の仕事にも挑戦するように。

(30代 男性)

【スタッフの声】

退職後7年間ひきこもり状態に

いじめによる不登校の時期が長く続いていた。それでも大学卒業後は正社員として企業に就職した。しかし、人間関係がうまくいかずに退職。それ以降は、自分に全く自信を持てなくなり、昼夜逆転のひきこもり状態が7年間続いた。

入塾前は、働いていない自分の世間体がとても気になり、家族以外の関わりが全くない状態が長く続いていた。その後、偶然見かけた自立塾のパンフレットから説明会へと足を運び、面接などでのスタッフとの関わりを経て入塾を決意する。

コミュニケーション訓練に挑戦、自信を得る

3か月間の集団生活の中で、当初は緊張から周りとのコミュニケーションに戸惑いはあったものの、スタッフの仲介もあり、様々なカリキュラムに積極的に参加するようになる。最後までやり遂げた経験が彼に自信を植え付けた機会となったようだ。

現場の仕事にも挑戦

現場では、自分のペースで無理なく働けるという雰囲気が本人と合っていたようで、遅刻・欠席も一度もなく、何より自らで目標を持って仕事に臨めていることが、大きな変化であろう。

頭で考える前にまず行動が奏功

他者との関わりに苦手意識を持ったまま家に閉じこもっていた本人が、自立塾の肩肘張らずに自分のペースで頑張れる雰囲気、塾でのカリキュラムを頭で考える前にまず行動してみることを実践した結果、小さな成功を積み重ねていくことで自信へと結びつき、社会に一步踏み出すきっかけとなったようだ。何より、塾に来て同じ悩みを持つ仲間と触れ合うことで、共感や自分を理解してくれる人との出会いを実感したことが、社会的な自立の上で大きく影響しているのではないか。

照会先： 企業組合労協センター事業団（労協若者自立塾）



平成21年度 実施団体一覧

No.	実施場所	団体名	実施責任者	団体所在地	電話番号・メールアドレス・ホームページ
1	北海道 余市郡 余市町	有限会社 青少年自立支援センター「ビバ」	安達尚男	北海道 余市郡 余市町	0135-22-0016 vivahouse.jp@yahoo.co.jp http://wakamono-viva.jp
2	宮城県 栗原市	特定非営利活動法人 くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所	佐々木豊志	宮城県 栗原市	0228-49-3155 info@kurikoma.org http://www.kurikoma.org
3	山形県 飽海郡 遊佐町	有限会社 ユザネイチャーズネイチャー	今井富世	山形県 飽海郡 遊佐町	0234-72-4156 independent@ynn-yamagata.com http://www.ynn-yamagata.com
4	山形県 上山市	特定非営利活動法人 東北青少年自立援助センター	岩川耕治	山形県 上山市	023-679-4005 ikoinosato@tohoku-ysc.org http://www.tohoku-ysc.org
5	栃木県 芳賀郡 市貝町	財団法人 ユースワーカー能力開発協会	堀添勝身	東京都 港区	0285-68-3928 jiritsujuku@youthworker.or.jp http://www.jiritsu-nice-m-day.net
6	千葉県 市川市他	特定非営利活動法人 ニュースタート事務局	村上俊	千葉県 浦安市	047-307-3676 newstart@mua.biglobe.ne.jp http://www.new-start-jp.org
7	千葉県 山武郡 芝山町	企業組合 労協センター事業団	古谷直道	東京都 豊島区	0479-77-2566 juku@roukyou.gr.jp http://juku.roukyou.gr.jp
8	東京都 三鷹市他	特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク	佐藤洋作	東京都 三鷹市	0422-70-5068 cosmows@npobunka.net http://www.npobunka.net
9	神奈川県 足柄上郡 山北町	特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会 (CLCA)	福守弘文	神奈川県 小田原市	0465-35-8420 info@clca.or.jp http://www.clca.or.jp
10	神奈川県 横浜市	株式会社 K2 インターナショナルジャパン (よこはまアプレントシシップセンター)	岩本真実	神奈川県 横浜市	045-752-5066 info@mec-k2.com http://www.mec-k2.com
11	富山県 黒部市	特定非営利活動法人 教育研究所	牟田武生	神奈川県 横浜市	045-848-3761 contact@kyoken.org http://kyoken.org
12	富山県 富山市	特定非営利活動法人 北陸青少年自立援助センター	川又直	富山県 富山市	076-467-0969 farmfirm@ace.ocn.ne.jp http://www.haguregumo.com
13	長野県 上田市	特定非営利活動法人 侍学園スクオアラ・今人	長岡秀貴	長野県 上田市	0268-38-0063 samurai@samugaku.com http://www.samugaku.com
14	愛知県 蒲郡市	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮	鈴木法政	愛知県 蒲郡市	0533-68-8756 hokuto7star2000jp@yahoo.co.jp http://page.freett.com/hokuto7starr
15	愛知県 知多郡 南知多町	特定非営利活動法人 ICDS	深谷潤一	愛知県 名古屋市中	0569-62-0005 info@icds.jp http://npo.icds.jp
16	大阪府 泉佐野市 他	特定非営利活動法人 おおさか若者就労支援機構	山中辰也	大阪府 大阪市	06-6946-7670 oyws@wep-npo.com http://www.oyws.com
17	大阪府 高槻市	特定非営利活動法人 フェルマータ	小林将元	大阪府 高槻市	072-690-6080 info@npo-fermata.com http://npo-fermata.com
18	兵庫県 神戸市	特定非営利活動法人 こうべユースネット	南平榮一	兵庫県 神戸市	078-232-1530 office@kobe-youthnet.jp http://www.kobe-youthnet.jp
19	奈良県 宇陀市	学校法人 神須学園	原田秀昭	大阪府 岸和田市	072-427-7600 ots@sensyu.ne.jp http://www.geocities.jp/bpqr700
20	広島県 三原市	社会福祉法人 みどりの町	岡田孝裕	広島県 三原市	0847-34-1030 fuku@midorinomachi.or.jp http://www.midorinomachi.or.jp
21	香川県 高松市	財団法人 喝破道場	野田大燈	香川県 高松市	087-882-4022 kappa@kappa.or.jp http://www.kappa.or.jp/
22	愛媛県 西条市	有限会社 ブラネット	伊藤久門	愛媛県 新居浜市	0897-40-2104 nakahagi_p@planet2001.com http://www.planet2001.com
23	高知県 黒潮町	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	工藤定次	東京都 福生市	0880-43-2423 yscoffice1@nta.pial.jp http://home.interlink.or.jp/~yscenter
24	福岡県 宗像市	合資会社 知心学舎倫理教育研究所	安松鈴代	福岡県 宗像市	0940-32-2663 chisin@satoshinoheya.jp http://www.satoshinoheya.jp/chisin/
25	宮崎県 西都市	特定非営利活動法人 フロンティア会	平尾隆光	宮崎県 宮崎市	0985-59-1800 frontier@ability-ss.org http://www.ability-ss.org/frontier
26	鹿児島県 指宿市	特定非営利活動法人 かがしま青少年自立センター	竹田寿昭	鹿児島県 指宿市	0993-27-6466 ysck46@m18.alpha-net.ne.jp http://www2.synapse.ne.jp/seikatsukan/
27	沖縄県 国頭郡 東村	社団法人 沖縄産業開発青年協会	伊集盛元	沖縄県 国頭郡 東村	0980-43-2118 seinentai@tontonme.ne.jp http://www2.ntononme.ne.jp/users/kaihatu
28	沖縄県 国頭郡 本部町	社団法人 日本青少年育成協会	近藤正隆	東京都 新宿区	03-3269-8411 info@jyda.jp http://www.jyda.jp